

超速硬型 無収縮セメントミルク

アクセルブースト  
**Axelboost**

## 施工要領書

この度は四国化成の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用にあたっては、この施工要領書をよくお読みいただき、正しくかつ安全にお使いください。  
誤った使用方法や用途では、効果が得られない場合がありますのでご注意ください。



本製品は既存のコンクリートと比較して硬化時間が圧倒的に早い基礎コンクリート材です。



注意

可使時間が短いため、施工は計画的に実施してください。

## 施工上のご注意

- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと、不具合発生の原因となることがあります。
- 施工前に必ず試し練りを行ない、商品の特性を確認したうえで本施工してください。
- この施工要領書は現時点での知見に基づいて作成しており、新しい知見により予告なく改訂されることがあります。  
最新の情報は、弊社ホームページ (<https://kenzai.shikoku.co.jp/>) をご確認ください。
- 施工手順を動画でもご覧いただけます。

YouTube 四国化成 アクセルブースト

施工解説動画  
(YouTube)

# 事前にお読みください

## 【施工を始める前に】

- 本製品はスピード硬化性により**可使時間が7分（気温20℃の場合）と非常に短くなっています。7分以内に使い切れないことが想定される場合は、その都度小分け計量し、材料を混合してください。**
- 施工前は必ず試し練りを行ない、当日の環境における性状を確認してください。
- 指定された材料以外の混合使用はしないでください。
- 埋設する支柱などは、材料が付着しないよう養生してください。
  
- 本製品は気温により混合の比率が異なります。  
**施工時の気温に応じた配合としてください。**

気温：5～19℃

重量比（粉体：水）10：3  
<【例】 20kg/袋：6ℓ >

気温：20℃以上

重量比（粉体：水）10：3.5  
<【例】 20kg/袋：7ℓ >

- 練り上がり温度の目安は**20～25℃程度**です。



練り上がり温度が低温の場合は硬化時間の遅延、高温の場合は可使時間が短くなる可能性があります。冬季はバケツヒーターで温めた温水、夏季は氷などで冷やした冷水を使用してください。

## 施工に必要な道具



本製品の性能を十分に発揮させるために、環境にあわせて以下の道具をご用意ください。

道具	使用目的
ハンドミキサー高速タイプ（低粘度用） または、インパクトドライバー+ペイントミキサー	材料混練り インパクトドライバー+ペイントミキサーは、材料10kg未滿で混練りの場合に限り使用可能
計量器	材料、水の計量
中心温度計	水温、練り上がり温度の確認
バケツヒーター	冬季の温水確保
万能刷毛	天端ならし

※容器、掃除道具などは適宜ご用意ください。

## 施工手順

### 【施工条件について】

- **気温5℃以下、降雨時、降雪時は施工できません。**  
硬化不良、品質低下（強度不足）の原因となります。
- 本製品、砂利の温度管理に注意し、冬季は採暖、夏季は日陰に保管してください。低温の場合は硬化時間の遅延、高温の場合は可使時間が短くなる可能性があります。
- 使用する砂利の汚れが目立つ場合は、あらかじめ水洗いをして水分を除いてから使用してください。極端な汚れや余剰水は天端に浮上し、硬化不良や美観を損ねる可能性があります。
- 練り水は水道水、または同等の水質のものを使用してください。  
不純物が硬化不良、品質低下（強度不足）の原因となる可能性があります。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合は、シート養生を行なってください。急激な乾燥により、表層にヘアクラックが発生する可能性があります。

## 混合方法・手順を厳守してください

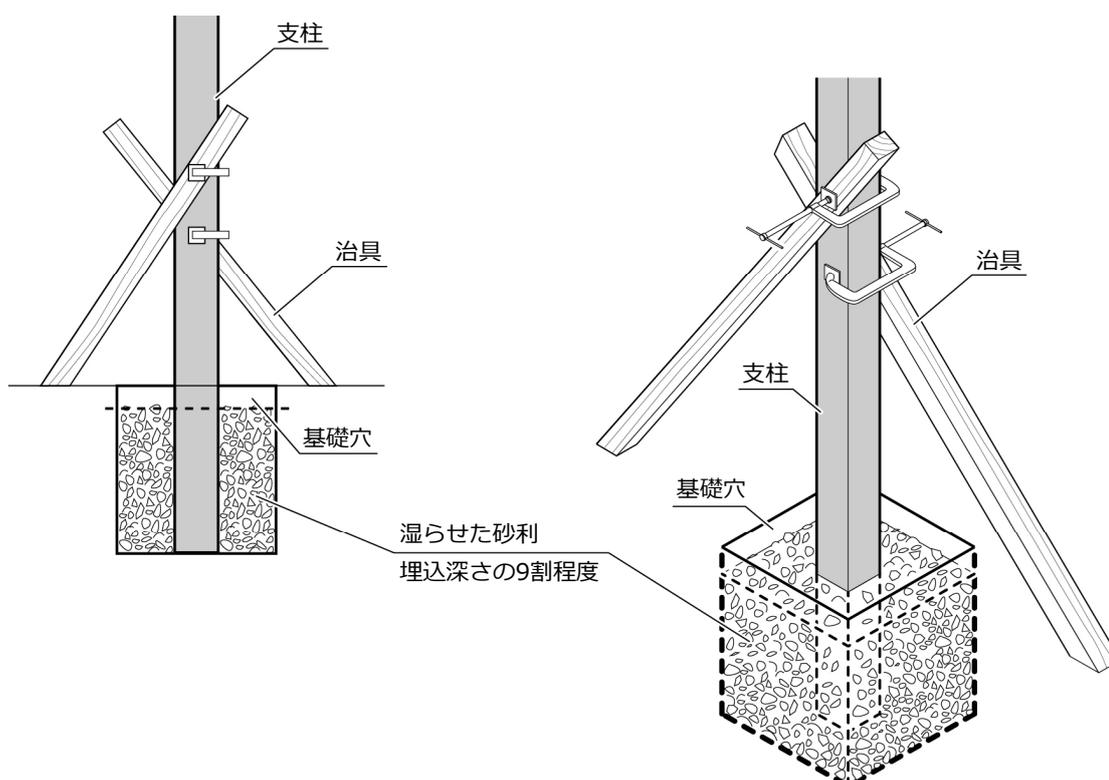
### ① 準備

- 基礎穴に埋設する支柱を立てて治具などで仮固定を行ない、あらかじめ**水で湿らせた砂利（5～15mm）**を埋込深さの9割程度まで詰め、上面を平滑にならしてください。



参考

本製品は砂に浸透しない性質のため、基礎下に割栗石、砂利、または碎石を敷きならす際、その上に砂を敷き詰めることで、材料の余分な流出を防ぐことができます。



## ② 材料の混練り



小分けして使用する場合は、必ず重量比を守ってください。  
また、粉体、水は事前に計量してください。



重量比（粉体：水） 10：3（気温5～19℃）  
重量比（粉体：水） 10：3.5（気温20℃以上）

### ① 容器に水を入れてください。

- 練り上がり温度の目安は**20～25℃程度**です。



- ・練り上がり温度が低温の場合は硬化時間の遅延、高温の場合は可使用時間が短くなる可能性があります。冬季はバケツヒーターで温めた温水、夏季は氷などで冷やした冷水を使用してください。
- ・粉体を先に入れると、容器の底に粉体が溜まり、粘度不足やダマ発生の原因となります。

### ② 容器に粉体を投入してください。



粉体を吸い込まないように、保護マスクの着用をおすすめします。

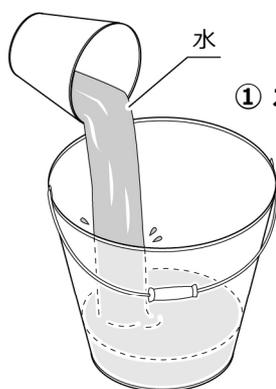
### ③ ハンドミキサー高速タイプ（低粘度用）で2分間よくかき混ぜます。



- ・本製品は水を加えた直後から反応がスタートし、約10分後（気温20℃の場合）から急速に流動性を失い、硬化が始まります。2分間の攪拌後は、可使用時間7分以内に必ず使い切ってください。
- ・混練りに使用した器具は早めに水洗いしてください。



粉体10kg未満の場合は、インパクトドライバー+ペイントミキサーでも攪拌可能です。



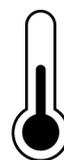
① 水を入れる



② 粉体を投入する



③ 2分間よくかき混ぜる



練り上がり温度の目安  
**20～25℃程度**

### ③ 材料の流し込み

- ① 材料を基礎天端までゆっくりと流し込んでください。  
エアが完全に抜けるまではレベルが下がり続けるため、様子を見ながら追加で流し込んでください。  
※可使用時間の目安は**7分（気温20℃の場合）**です。



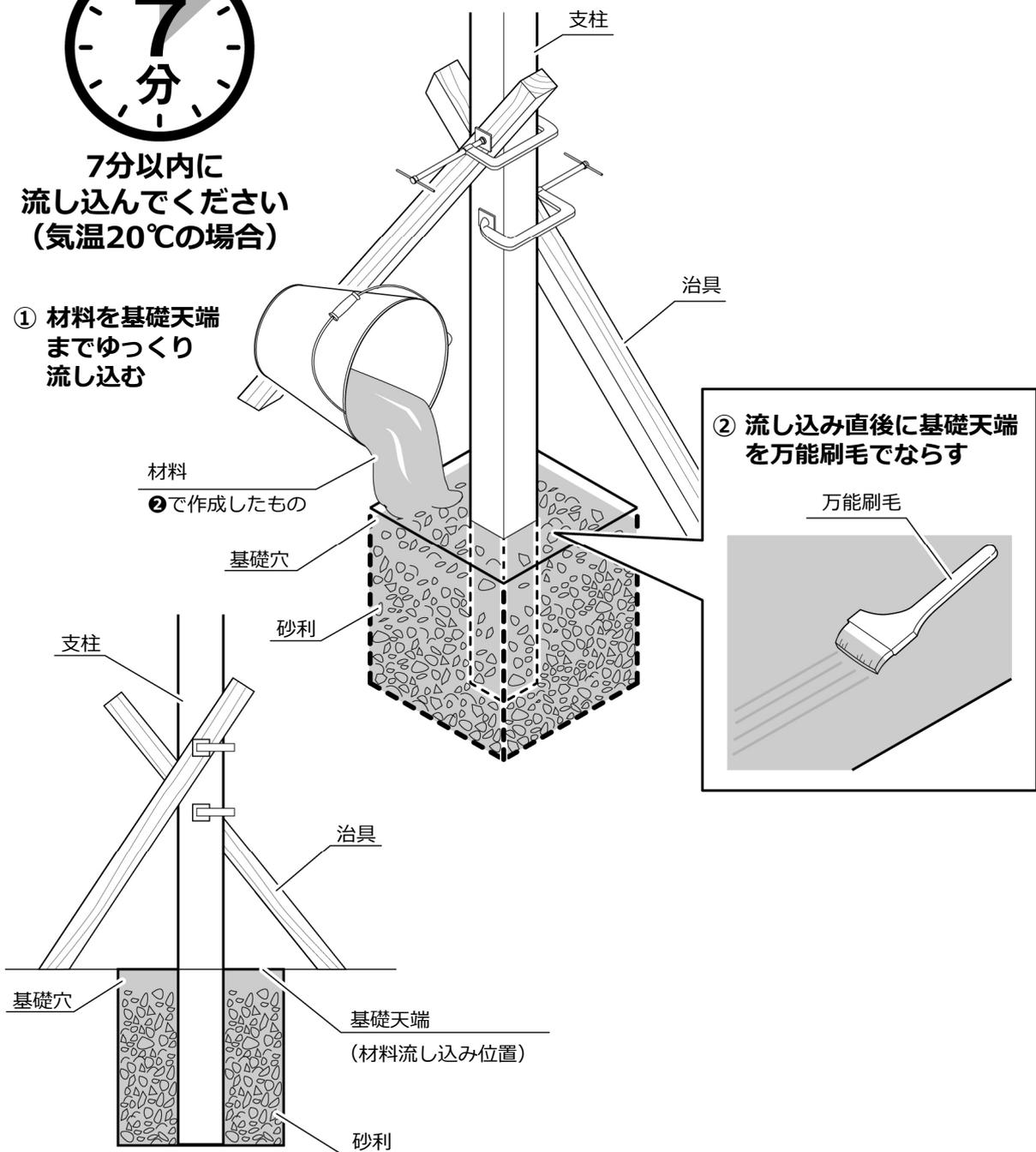
誤ってエクステリア商品など、周辺部分に材料を付着させた場合は、早めに濡れウエスなどで拭き取ってください。

- ② 流し込み直後に基礎天端を万能刷毛でならしてください。  
施工状況（砂利、土壌環境など）により天面露出部に色ムラや気泡が発生する場合がありますため、万能刷毛でならしてください。



7分以内に  
流し込んでください  
(気温20℃の場合)

- ① 材料を基礎天端までゆっくり流し込む

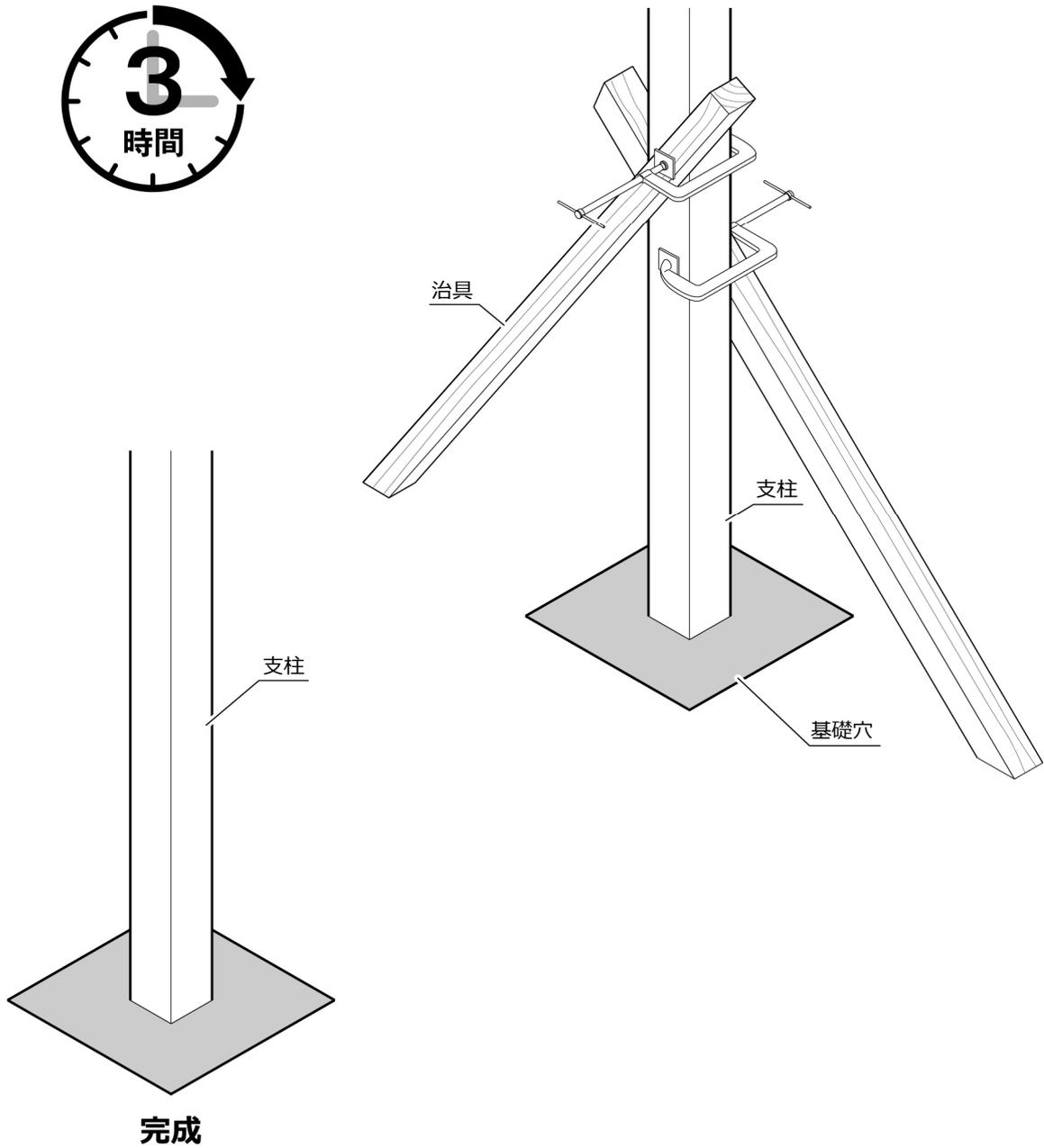


## ④養生

- 実用強度に達するまで、**3時間程度養生します。**



施工条件（土壌環境、気温、湿度など）によっては、それ以上の時間を要する可能性があります。



## 保管条件・使用期限

製品の品質（性能）が低下する可能性がありますので、次の事項にご注意ください。

- 使用期限は製造年月日から6カ月です。
- 開封後はその日のうちに使い切ってください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高い場所、高温（35℃以上）、低温（5℃以下）での保管は避けてください。

## 安全に関する注意

製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項にご注意ください。

### 【取扱上の注意】

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合は、すぐに水道水などきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
- 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けて産業廃棄物処理業者に依頼してください。残さ・残液は下水・河川・池・井戸・地下水等、汚染するおそれのある場所には廃棄しないでください。
- より詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

## おことわり

- ロットにより多少の色違いを生じることがあります。
- セメントを使用しているため白華や色ムラが出る場合があります。
- 経年変化として、退色や、表層にヘアクラックが発生する場合があります。
- 下地などに起因するクラックや表面の汚れ、傷などが付かないことを保証するものではありません。
- 表面に、硬く鋭利なものを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。割れや欠けなどの原因となります。

## 標準仕様

名称	Axelboost. (アクセルブースト)	
用途	エクステリア商品の基礎打設、仮固定	
型式コード	AXB-20	
主成分	特殊セメント	
正味質量	粉体 20kg	
使用方法	標準加水量	6.0~7.0 ℓ /袋
	比重	1.95 (加水量6.0 ℓ /袋)
	練り上り量	約13 ℓ
	可使時間	7分 (20℃)
	養生時間	3時間 (20℃)
打設体積	約0.03m <sup>3</sup> (骨材使用量 : 40kg、粉体使用量 : 20kg) ※試験使用骨材は6~15mm砂利 (比重 : 1.4)、空隙率45.5%として算出	
有効期間	製造年月日より6ヵ月	
保管条件	室温で保管する (5℃以下、35℃以上を避ける) 直射日光を避ける 湿気・水濡厳禁	

※標準所要量は、施工条件 (土壌環境、気温、湿度など) により前後することがあります

●改良のために予告なしに製品の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。